

浜校の時代(根上村史より)

大正二年に高等科を併置した浜校は、大正四年に福岡校に裁縫科が出来たりし、大正八年に浜にも福岡にも、農業補習学校が出来たりして、低度教育機関は殆ど完備した。

児童生徒と教員数は

浜校	児童	六七一人	教員	十七人
	浜農業補習科	一八七人	教員	四人
福岡裁縫校		二九人	教員	一人

学校設備

十四教室のところを学級編成十五学級なるを以って、事務室を普通教室にあつ、元より特別教室などを有せず、控え所は講堂兼用にして、甚だ狭隘、未だ御影を奉戴せず。

本年度に三教室の件は議決された、屋外体操所は砂地にして地盤良好ならざれども、面積・広く児童一人当たり、一坪四としている。

経費

計 六二六円五十銭で児童一人当たり九十二銭である。

板碑の話

写真は末政さんの庭に安置されており、町の「文化財」に指定されているものである。

末政氏の先代の一男氏から、聞いた話。

「田んぼの神様」は、現在の日吉神社と同じ御神体であるが、明治末年現在の地に移された、ことは別稿で示したが、田んぼの神様を移転した跡に残されたものである。
当時、村役人をして「犬丸」氏が、東京に転居に当たって末政氏が譲り受けたもので鎌倉時代の板碑であると認定されたものである。

